

Windows

JDBC ドライバの DL

<http://www.ch-werner.de/javasqlite/>

からコンパイル済みのものを DL 出来る。

sqlite.jar の配置

基本的に好きな場所に置いて良い。

コンパイルと実行時にに classpath を通すのを忘れずに。

sqlite_jni.dll の配置

基本的に好きな場所に置いて良い。

実行時にでパスを指定出来る

Linux の場合は、環境変数で「LD_LIBRARY_PATH」でも可。

Windows の場合は、環境変数で「PATH」でも可。

プログラムのコンパイル

```
javac -classpath sqlite.jar;. SQLiteHello.java
```

実行

```
java -classpath sqlite.jar;. -Djava.library.path=. SQLiteHello
```

Linux

JDBC ドライバの DL

<http://www.ch-werner.de/javasqlite/>

から JDBC ドライバのソースを DL

JDBC ドライバのコンパイル

```
./configure  
make
```

でエラーが出る場合は

```
./configure --disable-tcl  
make
```

で出来るので

好きなところへ移動。

プログラムのコンパイル

```
javac -classpath sqlite.jar;. SQLiteHello.java
```

実行

```
java -classpath sqlite.jar;. -Djava.library.path=. SQLiteHello
```

ライブラリパス

Windows では PATH に追加しておけばいいようです。Linux などでは、LD_LIBRARY_PATH 環境変数へ追加しておけばよいようです。

コード

<http://blog.sugikats.com/?eid=303462>

のそのままです。

コード SQLite3